



魔法のプロジェクト

過去の事例と「今」を比べてみる

～ かつての「種」のその後 ～

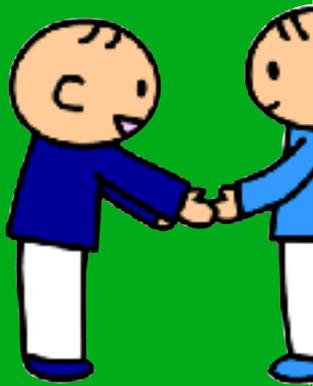


長野県稲荷山養護学校 青木高光

稲荷山 6年目

様々な実践

- ・ 自閉症、肢体不自由、
重度重複、読み書き、巡回相談
- ・ 「自立活動専任」という立場
→様々な子に関われるが
- ・ **担任との協力連携が必須**
- ・ **短期的な成果が求められる**
- ・ **長期的に支援関わる**



6年間

で見えてきたこと

障害

そのものではなく

困難

にアプローチする
とは？

初期の自分の理解

長期的支援の視点

〇〇ができなくて困っている子



タブレットを使って
「できる！」へ

大事なここから先

回復した自信をベースに



その子が主体的に何をやるか
やれる環境をどう整えるか



結論

を先に言うと

6年間
で見えてきたこと

過去の実践での
支援のポイント

- ・正しい実態把握
- ・実態に合った支援ツール活用
- ・具体的な成功体験

それらが
子どもの成長や
環境に合わせて

- ・進級、進学による環境変化
- ・担任の交替による環境変化
- ・教育課程や支援計画の変化

検証・修正
されて、その後の
支援にも継続
されること

= 「魔法」の支援の継続性を長期的に
検証することの重要性
= タブレットに限定しない、その子に
合った支援が機能しているか？



事例

3つの実践
のその後
を比較する

2014_魔法のワンド

導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

2015_魔法の宿題

タブレット活用を
校外・校内で広げる

2016_魔法の種

iPadによる作文の継続支援



2014_魔法のワンド

導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

「失敗」とは？

iPadがコミュニケーションに使える



保護者が期待して購入

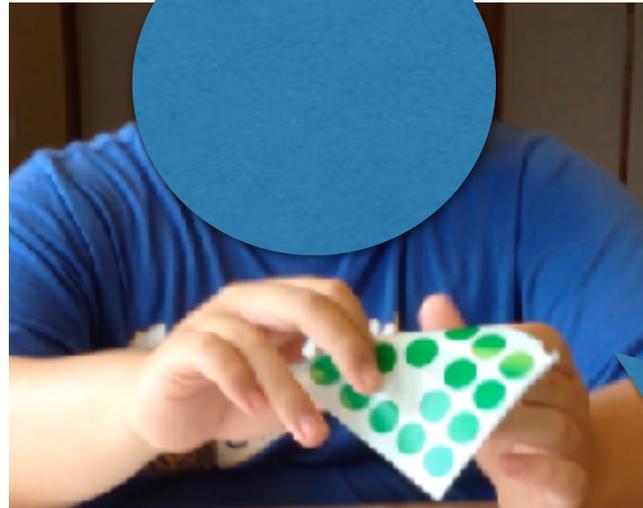
学習や生活に組み込む明確な
プランが無いまま

結果YouTube専用機



Gさん 中学部2年生

- ・ 知的障がいを伴う自閉症
- ・ 大声、他害行為などの不適応行動がある
- ・ 発語が無く、明確な意思表示ができない



でも、好きな活動（明確な活動）には短時間だが丁寧に取り組める。



視覚的スケ
ジュール

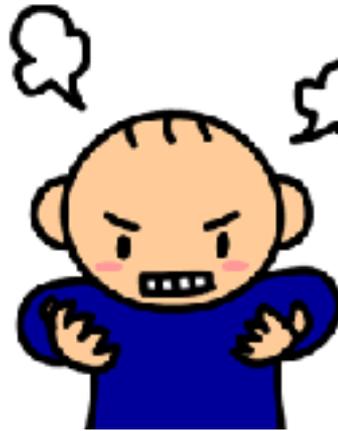
問題はiPadの使い方ではない

Gさんにとってわかりにくい環境を、変える

分かるように伝えてくれない！次になにやるのか不安！なんか勝手な指示されるけど意味分かんない

伝えたいことあるのに、方法が無い！

AAC手段



意味分かんないから声出すと、注意される！

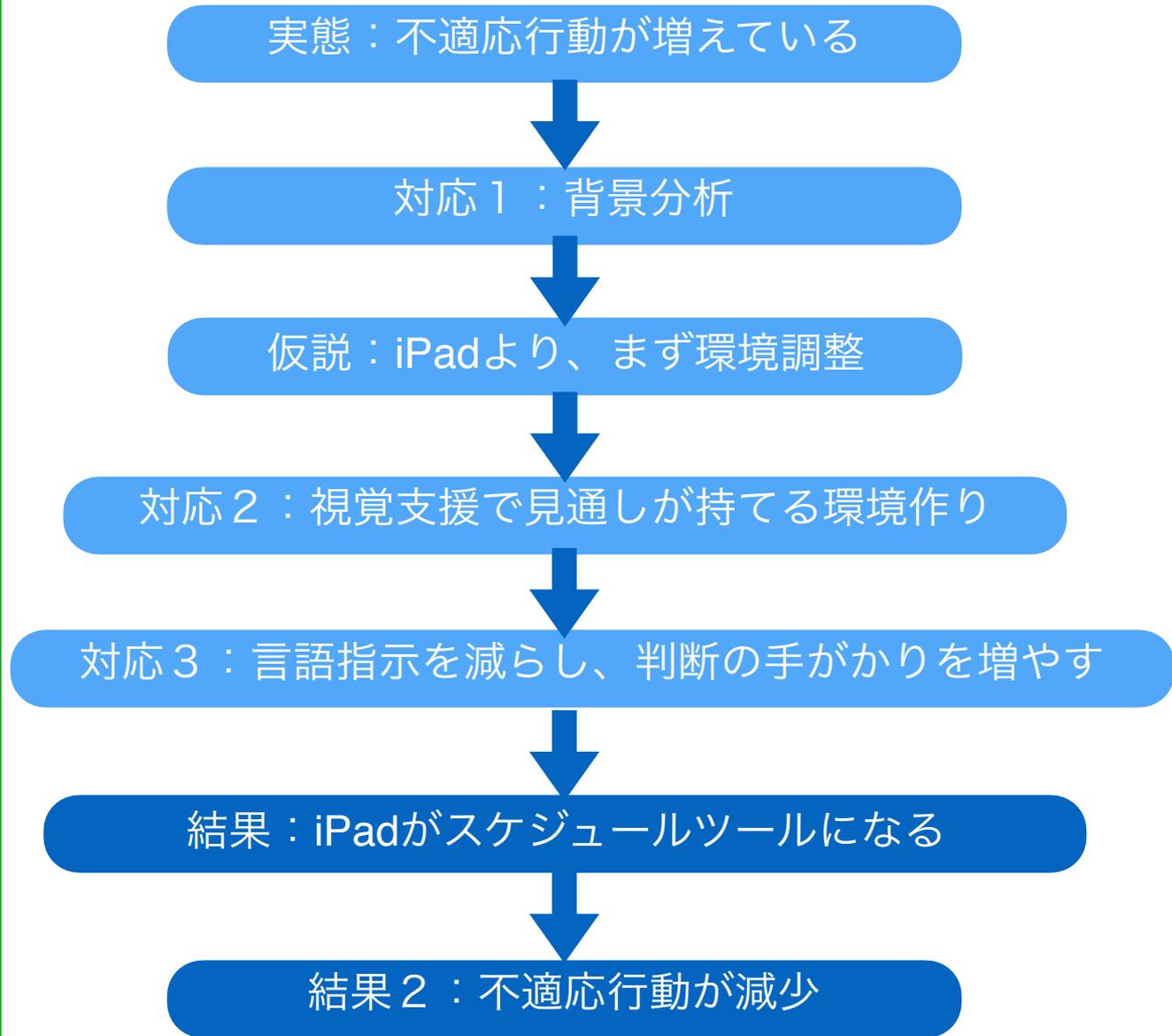
注意されて嫌な気分だから手を上げると、みんな何も言わなくなる

代替行動と
トークン
による強化

理解と表出を支援するツールへ

2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

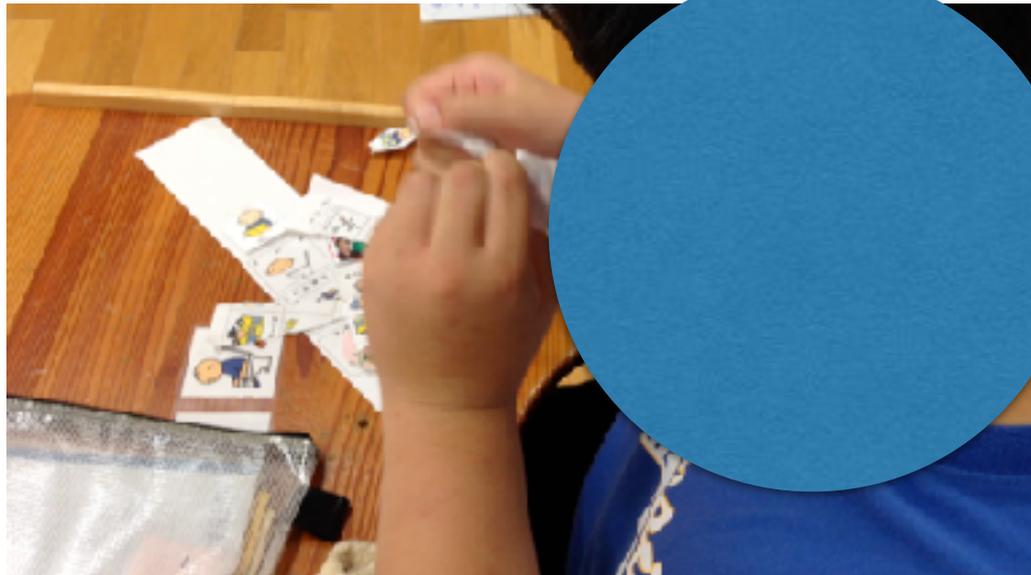
対応



2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

対応

視覚支援で見通しのもてる環境作り



「病院」を破りとって捨てた

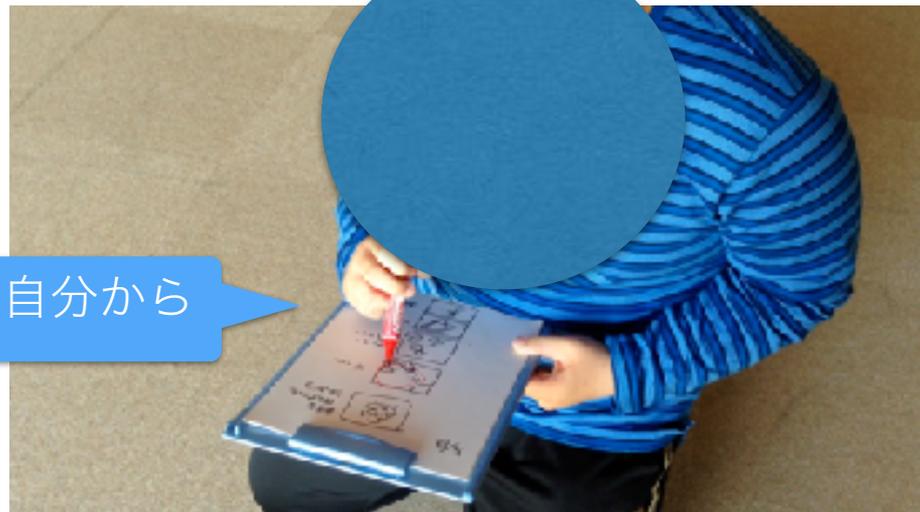
彼なりにシンボルで「伝えた」



2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

対応

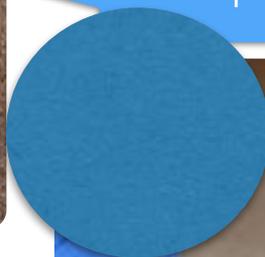
言語指示を減らし、判断の手がかりを増やす



活動終了でチェックも自分から



DropTalkのスケジュール機能



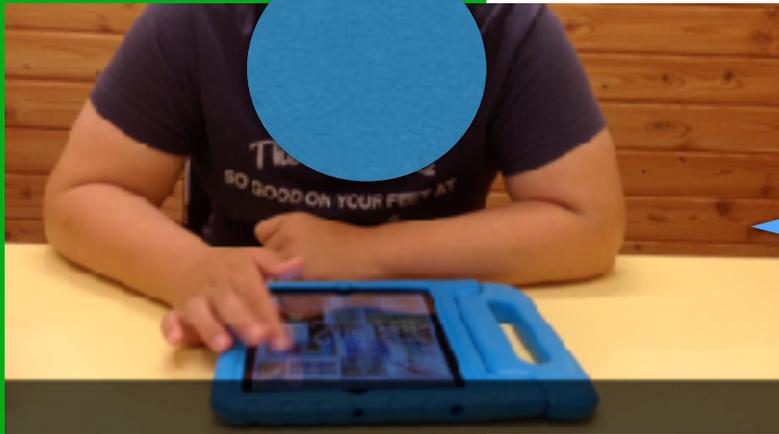
自分からチェック！



2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

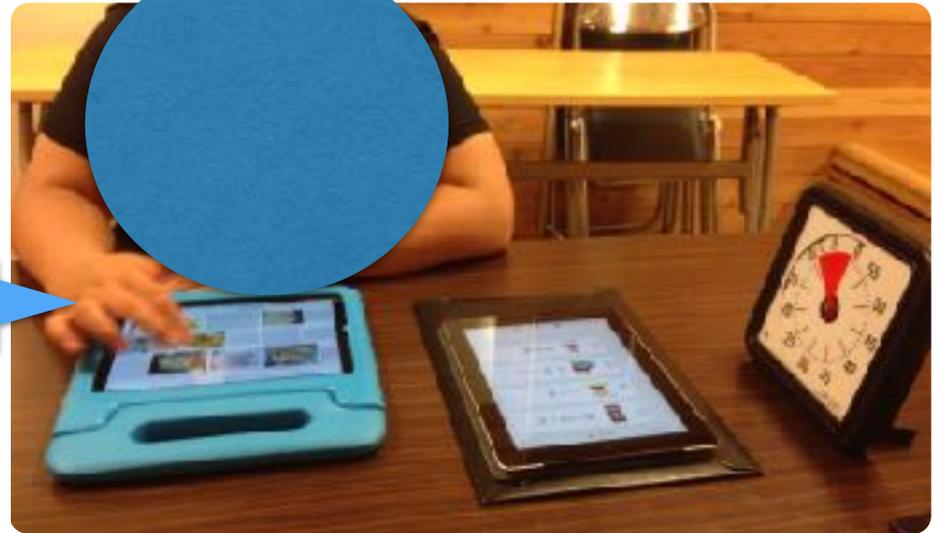
対応

好みの画像を自分で選ぶ

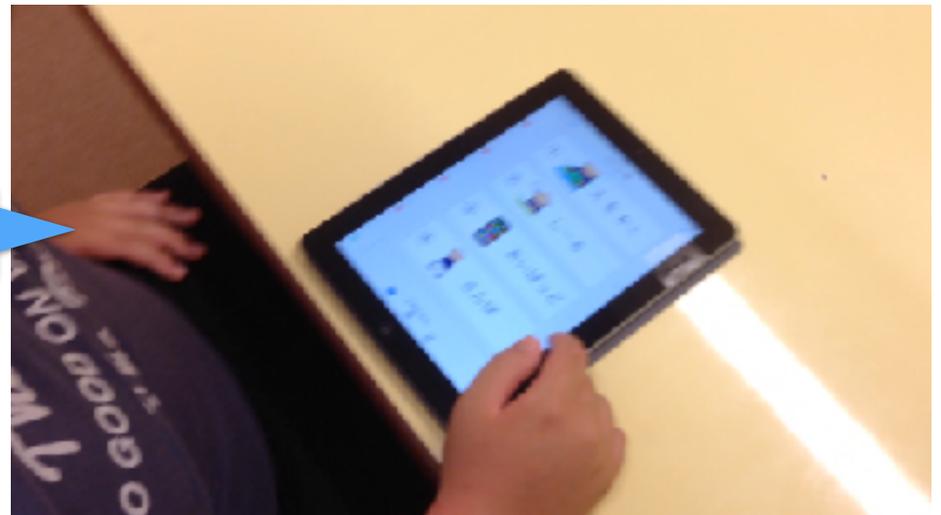


活動の順番を選べるようになった

iPadがスケジュールツールになる



選んだ画像でパズル



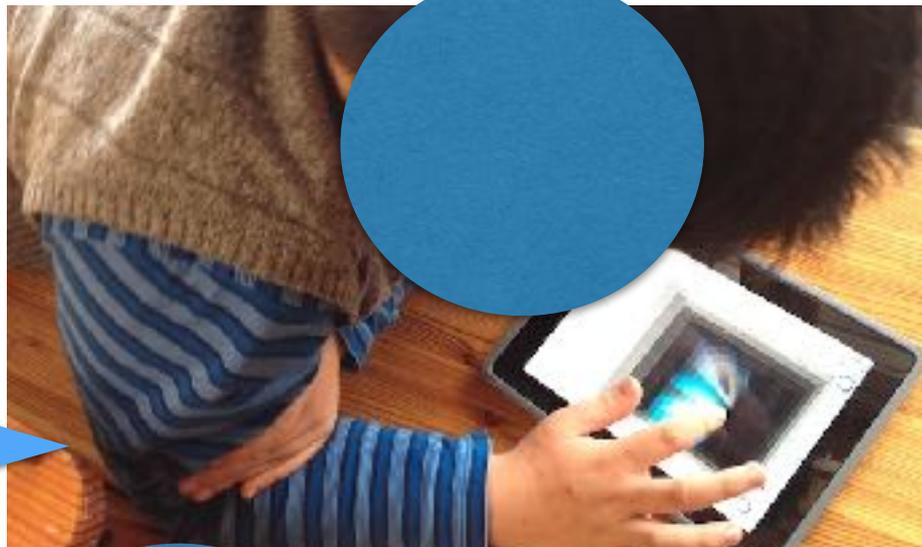
2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

対応

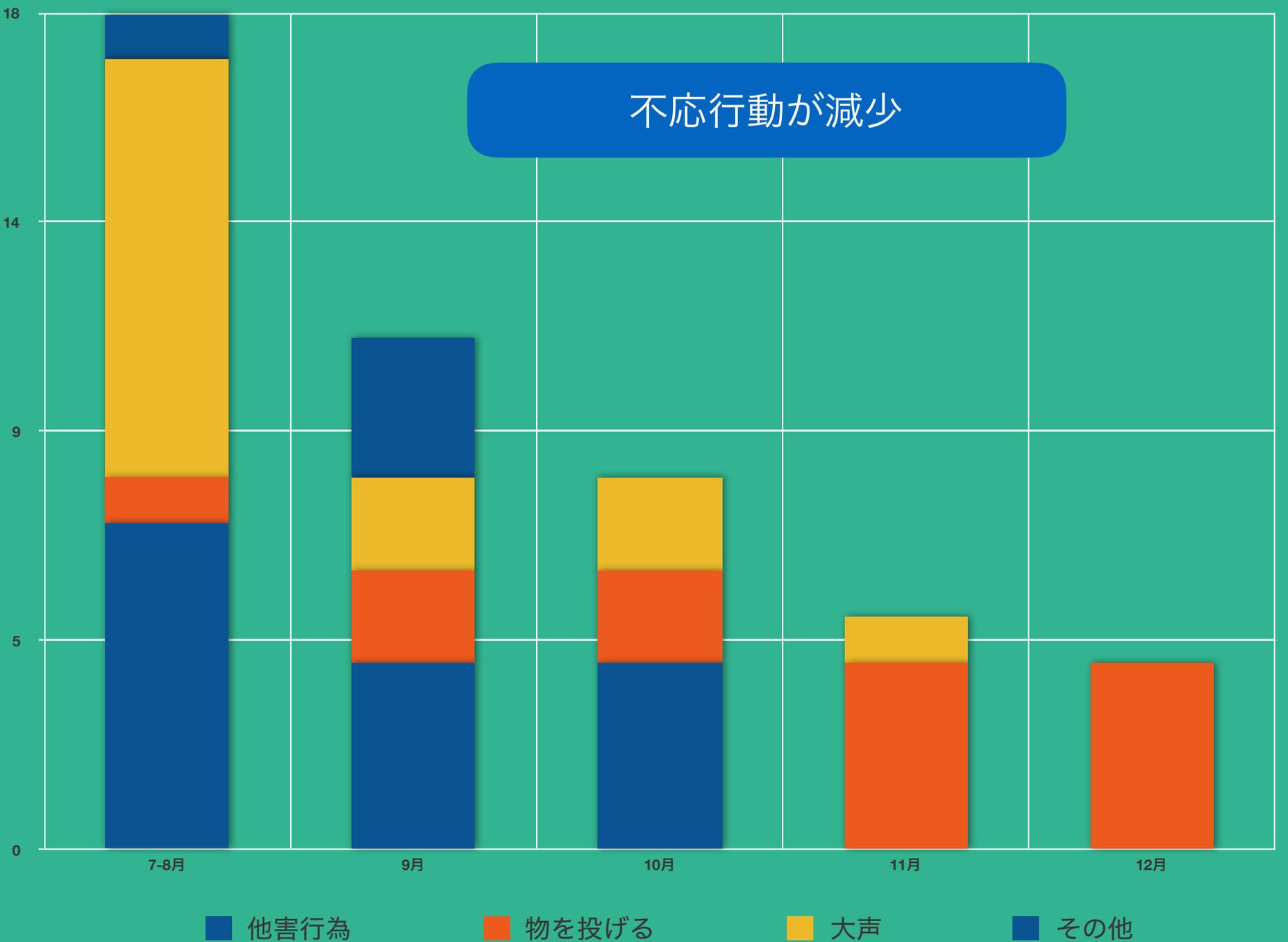
動画を見るiPadに

スケジュールアプリが同居

iPadがスケジュールツールになる



不応行動が減少



■ 他害行為

■ 物を投げる

■ 大声

■ その他

2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入



2015

翌年 再度の担任の交替
翌々年 高等部へ進級
その都度支援の見直し

支援ツール活用

実行可能な成功体験

それらが
子どもの成長や
環境に合わせて

- ・進級、進学による環境変化
- ・担任の交替による環境変化
- ・教育課程や支援計画の変化



2016

検証・修正
されて、その後の
支援にも継続
されること

= 「魔法」の支援の継続性を長期的に
検証することの重要性
= タブレットに限定しない、その子に
合った支援が機能しているか？



2014_魔法のワンド
導入を失敗した事例への
タブレットの再導入

2015

2016

支援の再構成

実態：不適応行動が増えている

対応1：背景分析

仮説：急激な体重増加による不調

対応2：自分から運動できる環境作り

対応3：栄養に関して保護者との連携

対応4：担任から離れて単独で活動

対応4：二週に1回の保護者懇談

結果：自分から意欲を持って運動に取り組む

結果2：体重が減少



2015

長期的支援の視点



スケジュールとトークンで
新しい活動に自分から取り組む



2016



視覚支援+タブレットの活用

2学期の実習での大きな成長

長期的支援の視点



3年間の継続支援を通して

環境変化に合わせて支援の修正は必要

だが

iPadが身近な支援ツールになっていた

ので

0からの再スタートではなく、支援の微調整

新担任との支援方針の共有が（比較的）容易

支援に関わる若い先生たちの柔軟な活用も

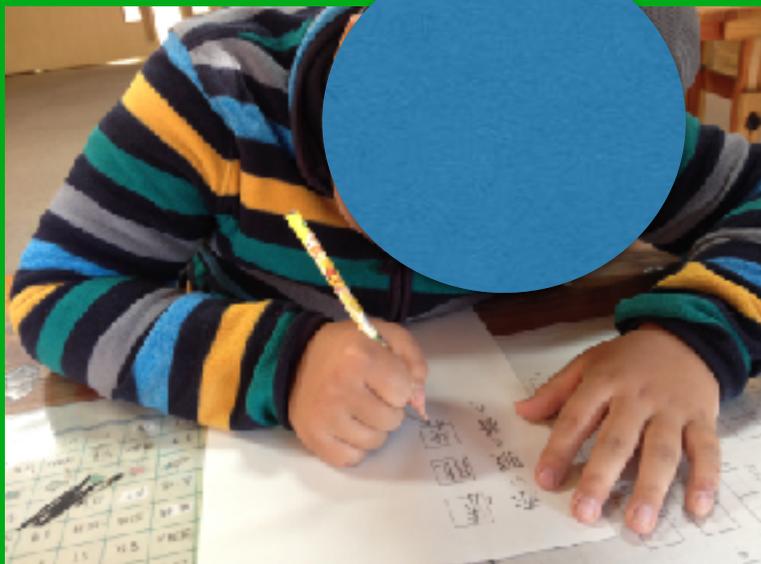


Tさん 中学部3年

- ・ 肢体不自由
知的障がい
視覚障害（強遠視・弱視）



実態



学習面

- ・ 3、4年生程度の漢字
読み書きできる

(理解は追いついていない)

- ・ 上肢の障がい、
弱視のため書写は苦手

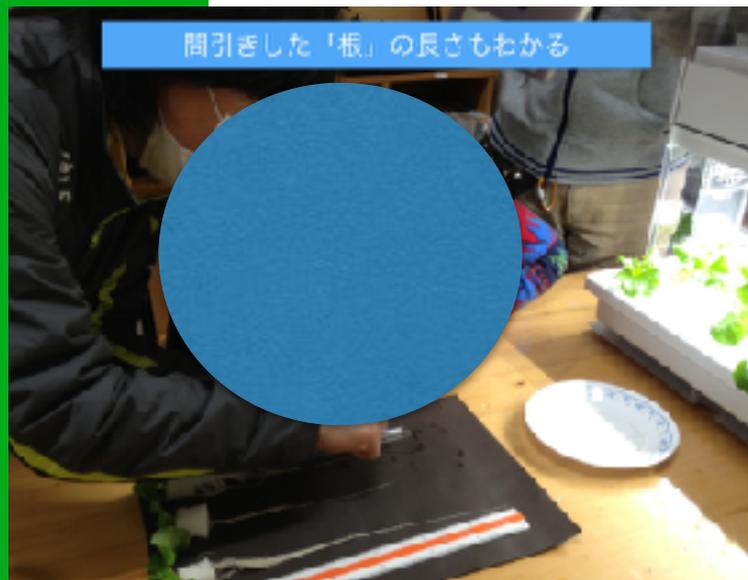


コミュニケーション

- ・ 何に対しても「はい」と
答えてしまうことがある
- ・ わからないことの確認や
助けを求めることが苦手

過去の事例とは？

ここ数年続けている 水耕栽培+タブレットで新しい理科

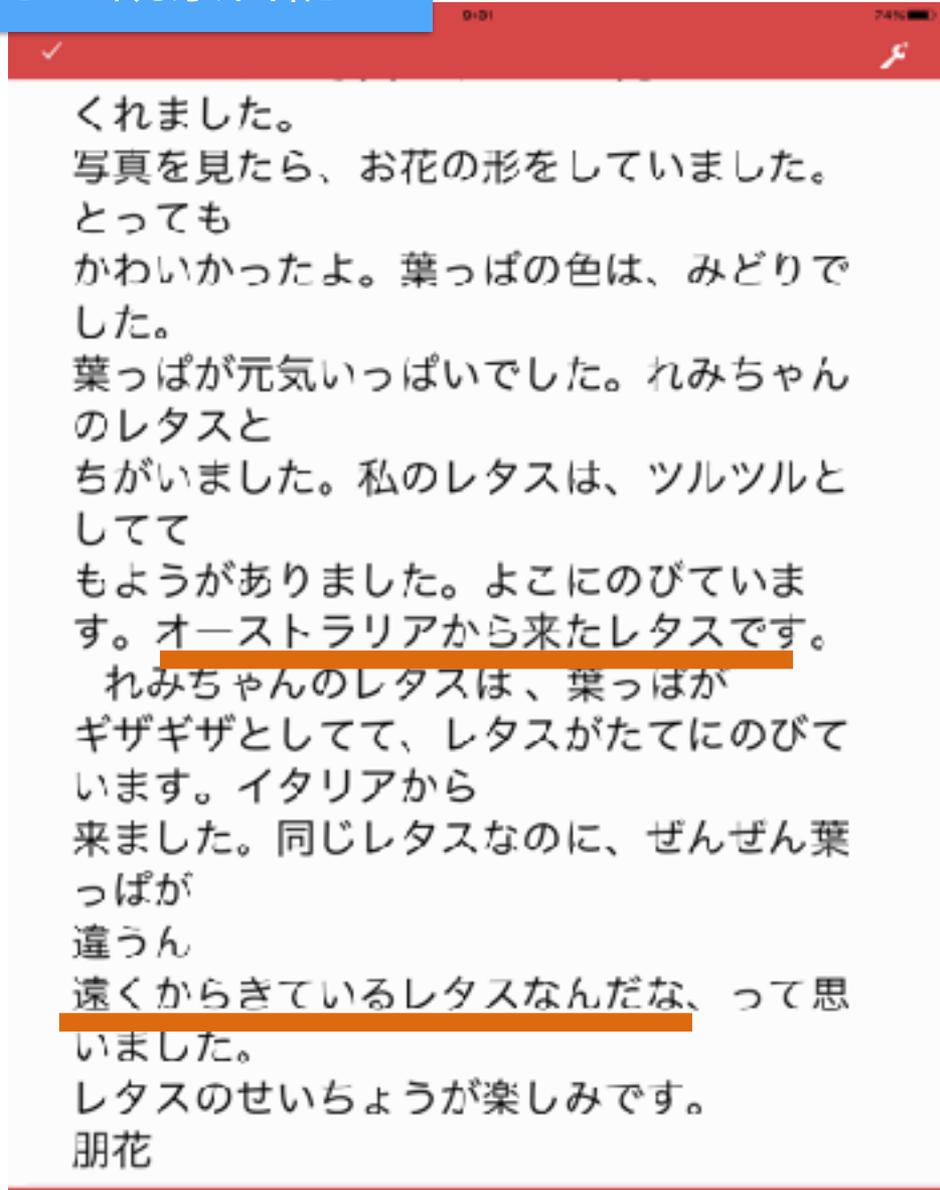
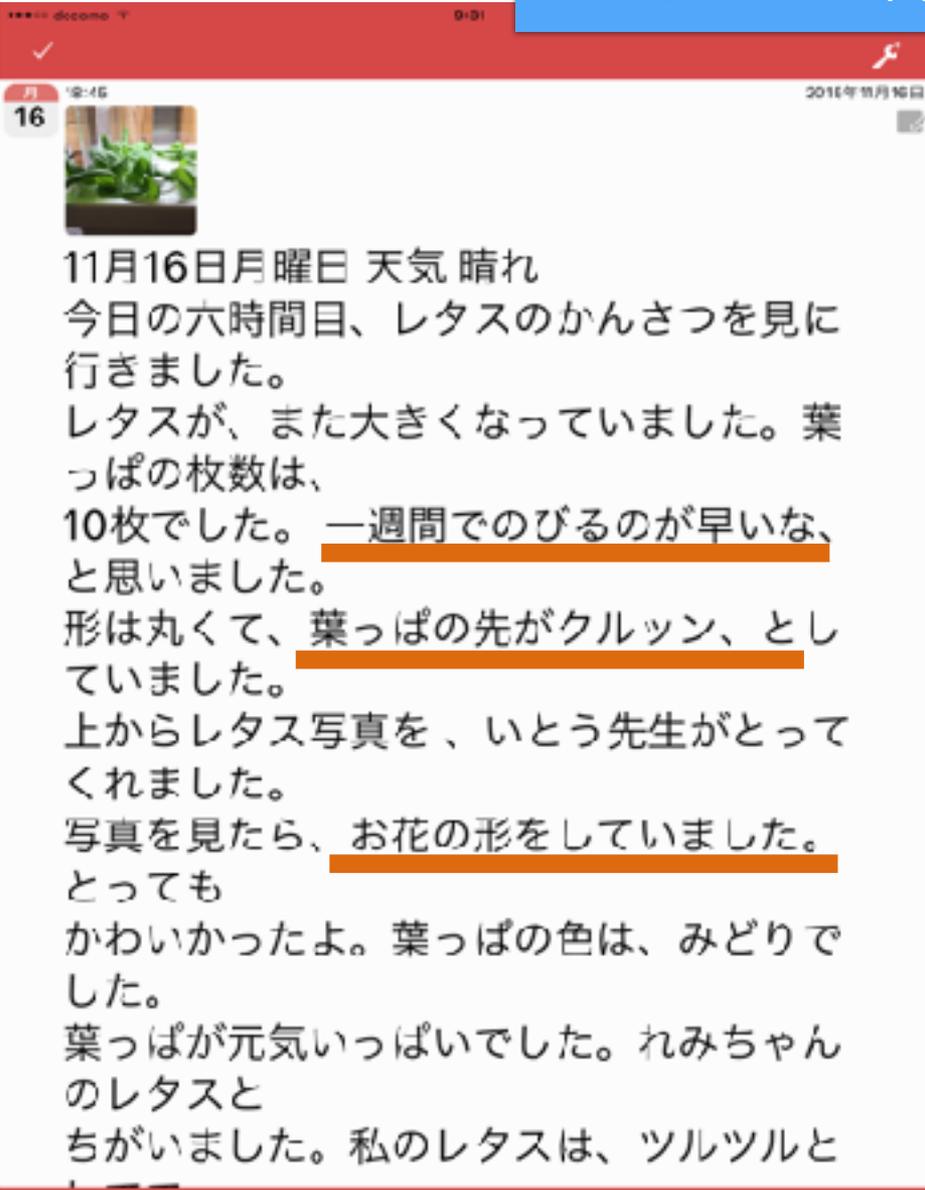


この 水耕栽培 の事例は

過去の事例で「主役」だったTさん
への支援の継続が主目的でした



Tさんの1日分の観察日記



独創的な視点、豊かな内容

他の 子への 波及

しかしTさんだけではなく、
一緒に取り組む他の子にも、
とても大きな効果、成果がありました。



一緒に取り組んだNさん





根っこがこんなに長くてビックリです。



全部抜くとこんな感じです。長さを測ると40センチです。



味が気になり食べてみました。すると、とても、苦かったです。食べた後も、口の中に苦味が残りました。

写真と説明文も独創的

Tさんも
頑張っ
ていま
した

間引きした「根」の長さを測る



当たり前だけど、子どもは全員が学びの主役！



目標



学習面での力を伸ばし

- ・ 慣れている活動をベース
- ・ 意欲を保ちつつ
- ・ 自分の力で取り組むことを増やす
- ・ 発表の機会を増やし
- ・ 文章表現の正確さや他者の発言内容の理解を確実にしていく



コミュニケーションを豊かにする

活動



慣れている活動とは？

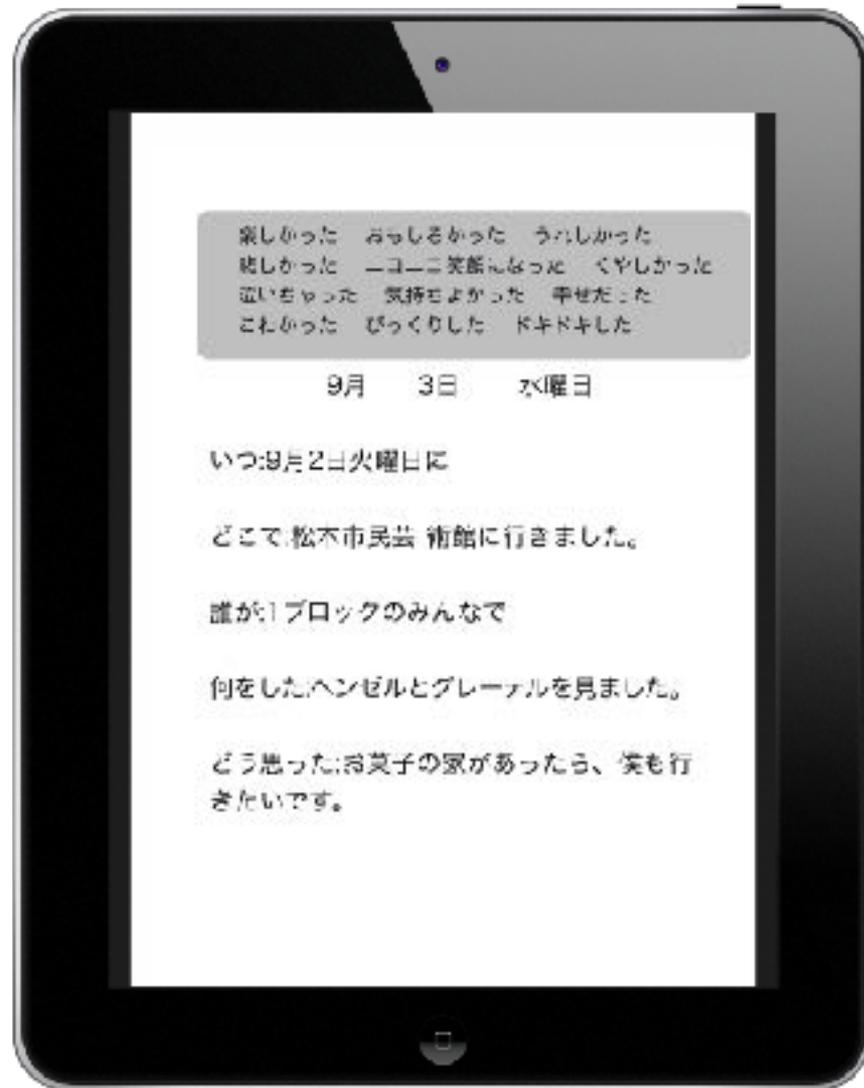
- ・ iPadはすでに使っている
- ・ 写真を撮ることが好き
- ・ 日記を書き続けている
- ・ **水耕栽培大成功**の実感
(家でも自分から植物を育てるようになった)



水耕栽培とその記録
校外での活動の日記
→発表

学習 の実際

中1の時から
学校のiPadを
使って日記を
書いてきた



工夫のポイント と 担任の願い

担任の先生と一緒にセレクトした「気持ちの言葉」

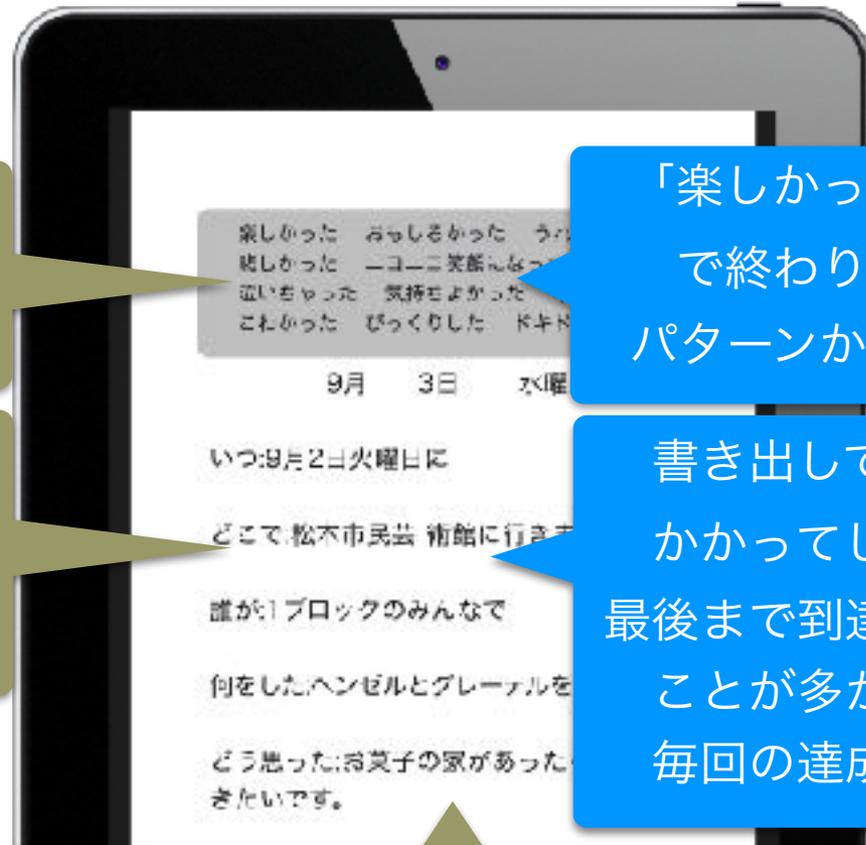
いつ、どこで、誰が、何をした、どう思った の項目を埋めていくことからスタート

書く手段にこだわらないことでの、困難の軽減。鉛筆やノートよりも早く、簡単に綺麗にかけることを重視

9月2日火曜日に 松本市民芸術館に行きました。1ブロックのみんなでお菓子の家を見ました。お菓子の家があったら、僕も行きたいです。

「楽しかったです」
で終わりがちな
パターンからの脱却

書き出しで時間がかかってしまい、最後まで到達できないことが多かった。
毎回の達成感重視



取り組みに変化の兆し

楽しかった おもしろかった うれしかった
悲しかった ニコニコ笑顔になった くやしかった 泣
いちゃった 気持ちよかった 幸せだった
こわかった びっくりした ドキドキした

9月30日火曜日

いつ:昨日の夜に

どこで:とうみのおばあちゃんちで

誰が:僕が

何をした:かい段で転んで、かい段の上から下に落ちました。顔をぶつけて、鼻の下から、血が出ました。僕は、痛くって、泣いちゃいました。

どう思った:今度は、転ばないように気を付けます。

9月30日火曜日

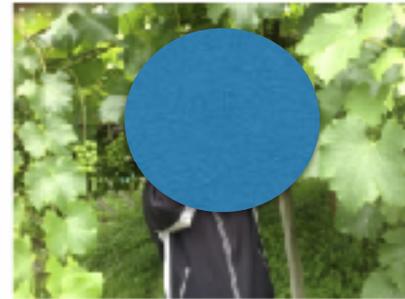
昨日の夜に

とうみのおばあちゃんちで
僕が かい段で転んで、かい段の上から下に落ちました。顔をぶつけて、鼻の下から血が出ました。僕は、痛くって、泣いちゃいました。

今度は、転ばないように気を付けます。

6月 29日 水曜日

楽しかった おもしろかった うれしかった
悲しかった ニコニコ笑顔になった くやしかった
泣いちゃった 気持ちよかった 幸せだった
こわかった びっくりした ドキドキした
ムツとした さみしかった



いつ:毎日、お母さんが東御のおばあちゃん
家で、ぶどうのお仕事をしています。この
写真は、ハサミで、ぶどうの粒を取ってい
る様子です。ぶどうの粒は、全部で60粒く

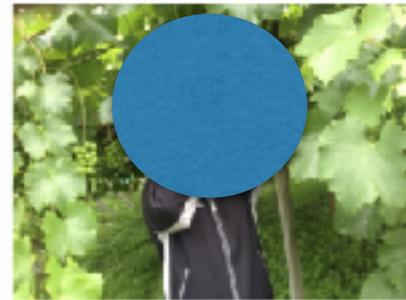
6月29日水曜日

毎日、お母さんが東御のおばあちゃん家で、ぶどうのお仕事をしています。この写真は、ハサミで、ぶどうの粒を取っている様子です。ぶどうの粒は、全部で60粒くらいついているのを33粒にしています。

お母さんが「とっても、大変なお仕事なんだよ。」と言っていました。僕の思いは、「早くぶどうを美味しく食べたいよー」と思っているよ。

6月 29日 水曜日

楽しかった おもしろかった うれしかった
悲しかった ニコニコ笑顔になった くやしかった
泣いちゃった 気持ちよかった 幸せだった
こわかった びっくりした ドキドキした
ムツとした さみしかった



いつ:毎日、お母さんが東御のおばあちゃん家で、ぶどうのお仕事をしています。この写真は、ハサミで、ぶどうの粒を取っている様子です。ぶどうの粒は、全部で60粒く

7月 5日 火曜日

楽しかった おもしろかった うれしかった
悲しかった ニコニコ笑顔になった くやしかった
泣いちゃった 気持ちよかった 幸せだった
こわかった びっくりした ドキドキした
ムツとした さみしかった



題名: 「野球の試合」

思ったこと:今日の夕方 いとこの[]の
野球の試合を見に行きました。[]は、
大きな声を出して頑張っていました。それ
を見て僕は、「[]は、やっぱり頑張っ

7月5日火曜日

今日の夕方 いとこの[]の
野球の試合を見に行きました。

[]は、大きな声を出して頑張っ
ていました。それを見て僕は、

「[]は、やっぱり頑張ってる
なー」と思いました。この試合は、

夕方の5時に始まったので、グラ
ンドの電気は、もうついてありま

した。太鼓の音も聞こえてきて、
にぎやかでした。あと、野球の選

手は頭にかぶっている帽子を外し
て、僕に「こんにちは」と大きな

声で、挨拶をしてくれました。僕
は、嬉しい気持ちでした。あと、

野球の選手のかばんが、きれいに
並んでいました。やっぱり、野球

の選手はすごいなーと感じました。

夏休み 日記



写真の撮影量が増え、
よい写真を選択している

フォルダ分けして整理

内容がさらに豊かに



8月19日大塚町
送り盆をしたこと。

今日の夜に加沢のおばあちゃん家
で送り盆をしました。送り盆では、つらに火をつけて
おばあちゃんと 狂夢(僕のお兄さん)と一緒に大声
で、「おさんおさんこのあかしで、お褒りよー」と言いました。
久しぶりにみんなと会えて僕は嬉しかったです。その後僕は、
加沢の家の中にいてあとのみんなも、
加沢のおじいさんのお墓に行きました。
「僕も行きなかつたー」と思いました。でも、お母さんが「お墓は、危ない
よー」と言ったので、僕は行かずにして。でも、僕は加沢の家で、テレビを見たのでさ
びしくなかったです。



「地域」との支援連携

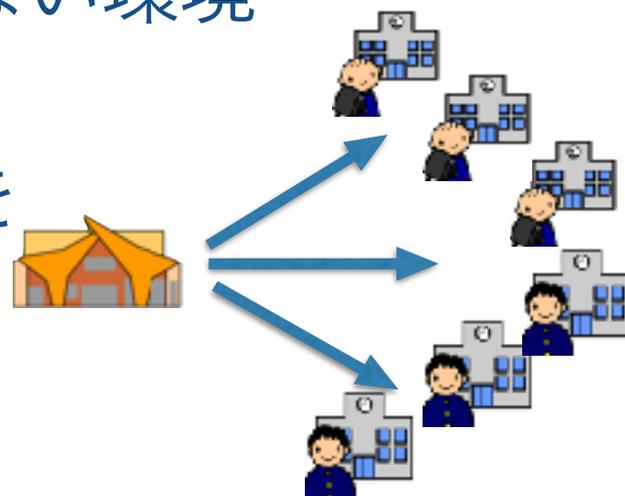
自・情障学級巡回相談



読み書きに困難を持つ子の多さ

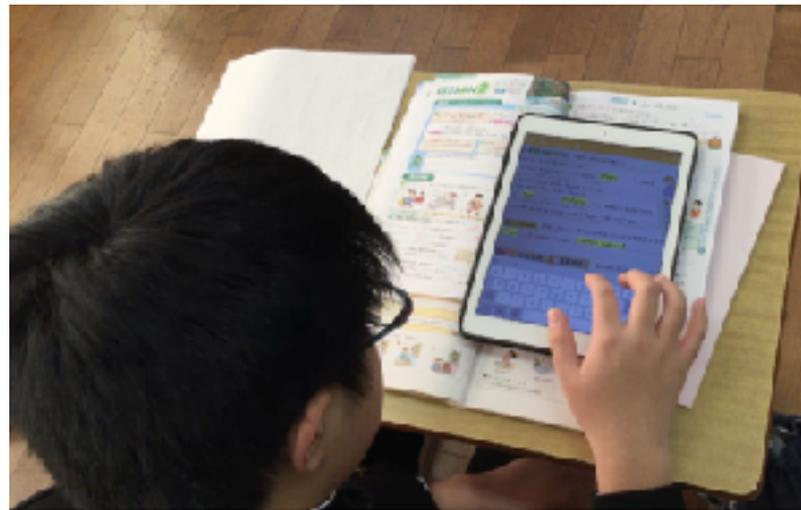
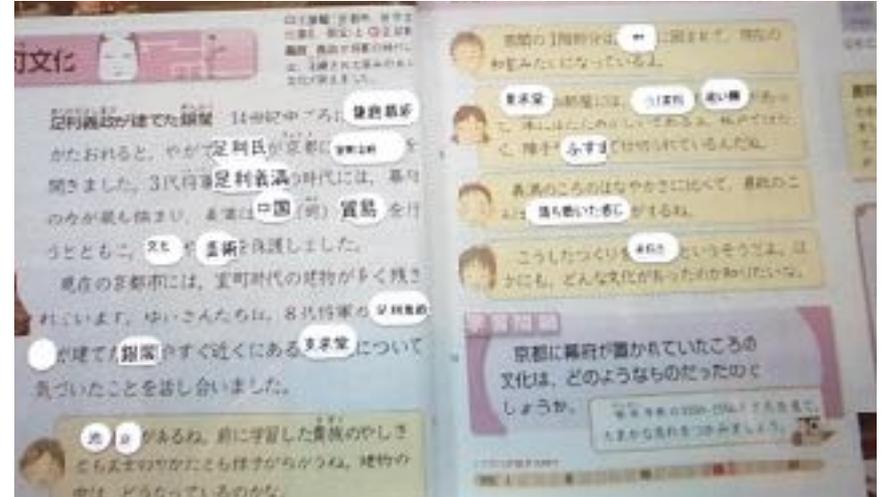
「タブレットを試してみる」
ということができない環境

ツールと支援方法を
セットで提供する



2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる

タブレットを使った 巡回相談支援 小5校 中3校



2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる

地域の情報共有のための自主研修会

あの学校でもやっているんだ！

子どもの課題が解決している

自分の学校でもやりたい！



昨年度に引き続き今年度も実施

2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる

自主研修会でお伝えした内容の一部

困難へのアプローチが逆効果になる例

覚えられない
一度で理解できない



就労先で困る！
メモをとれるようにしたい！

同時処理が苦手
字を書くのが遅い



← 話を聞いてメモを取る練習

メモがうまくできない



「要点の抽出」という更に困難な
課題を与えている

メモは定着しない
苦手な活動が増える



残念ながら、
新たな苦手を増やしただけ

録音する
という手段への
転換

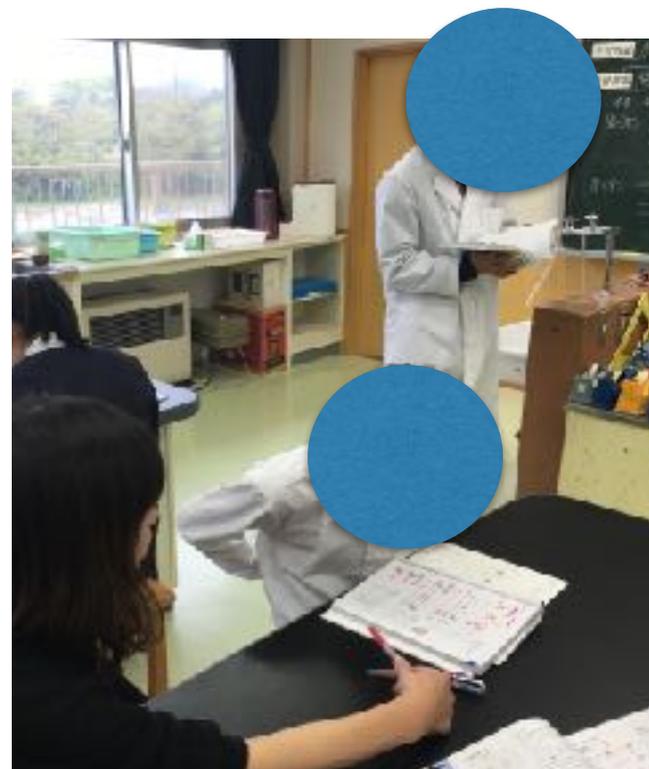
2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる



2016

研修会をきっかけに 情報共有が進み、次の動きに

- ・ S中の自・情障巡回（長野養護学校 M先生）と
担任のY先生の連携
- ・ 対象生徒の詳細な
実態把握から
「タブレットが有効
ではないか」と考え、
稲荷山養護学校
に相談依頼



2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる



2016

対応

支援の流れ

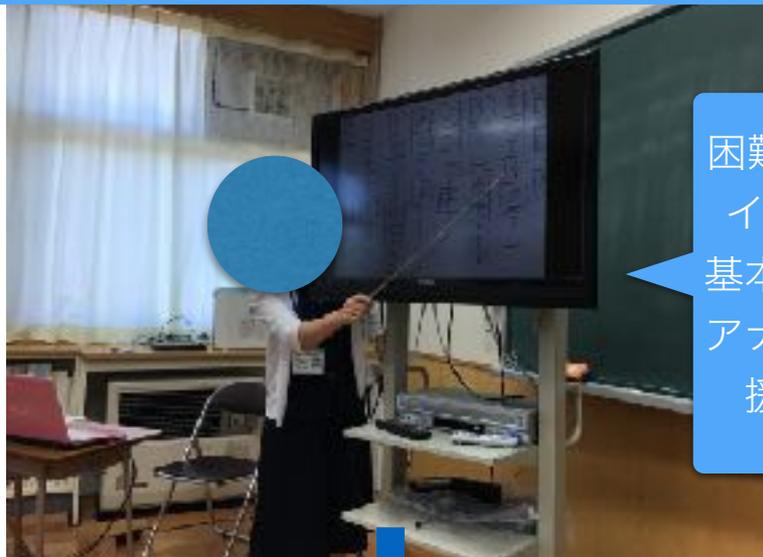
対応1：授業参観



仮説：iPadよる読み書き支援が有効



対応2：M先生によるLD生への対応の職員研修



困難とつまずきのポイントを説明し、
基本的な環境調整や
アナログ手段での支
援の方法を共有



対応3：タッチ&リードとデイジー教科書の導入

2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる



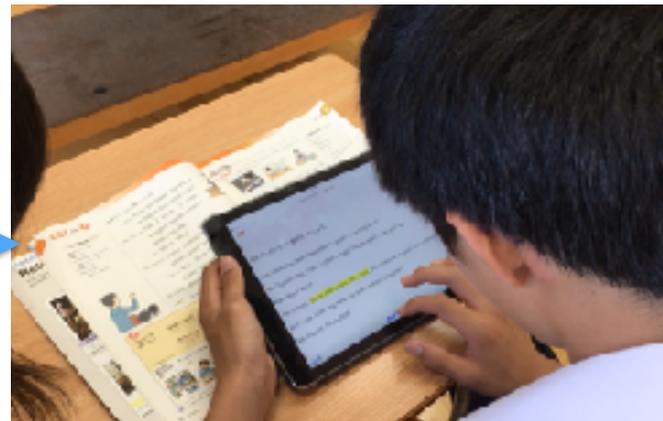
2016

活用

先生が読みを教える



デジター教科書で読む



タッチ&リードで
プリントの読みを自分で

2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる



2016

その後

チーム支援体制
作りの成功

支援の流れ

対応1：授業参観

仮説：iPadよる読み書き支援が有効

対応2：M先生によるLD生への対応の職員研修

対応3：タッチ&リードとデイジー教科書の導入

対応4：進学へ向けて、入所施設も交えての支援会議

対応5：進路先への相談（入試での配慮、入学後）

2015_魔法の宿題
タブレット活用を
校外・校内で広げる



2016

現在

進学に向けて



担任の先生の言葉

入学した頃は、授業中はまったくやる気がなくてすぐ寝てしまう子でした。でも、当時の国語の教科担任が、丁寧に読んであげると、ちゃんと理解できることに気づいたんです。

「この子は知的な遅れとは思えない。理解力はすごく高い。」と言ってくれた。そこから支援の方向が変わりました。読み書きへの支援方法を全校で共有して、iPadを導入してから、本人のやる気も増したようです。高校進学はまだどうなるかわからないけど、学校全体で彼を支援しています。

この事例の「結果」というものはまだ示せませんが...

魔法の種



このテーマは、
魔法の種を蒔こう！
ではなく

以前蒔いた種は、
ちゃんと芽を出し、
葉を広げているんですか？
という問いかけだったの
かもしれない、と思います